

## 平成 25 年度 J A T E セミナーの開催模様

一般財団法人 電気通信端末機器審査協会

当協会では平成 25 年 11 月 8 日（金）、主婦会館プラザエフ（千代田区）において賛助会員の皆様を対象にセミナーを開催し、「多様化・複雑化する電気通信事故の防止に向けた総務省での取組み」と題して総務省総合通信基盤局電気通信技術システム課長 杉野勲氏から、次いで「Inter-Service 時代の取組み～新たなステージを目指して～」と題して NTT 取締役 技術企画部門長 新ビジネス推進室長兼務 小林充佳氏から、ご講演いただきました。

杉野課長からは、近年、ネットワークやサービスの多様化・高度化に伴い、発生する事故や障害が多様化・複雑化していることから、総務省が本年 4 月より「多様化・複雑化する電気通信事故の防止に関する検討会」においてこれらの環境変化を踏まえて検討してきた、電気通信事故の防止に向けた取組みについて内容をご紹介いただきました。

小林取締役からは、インターネットの普及拡大による社会・経済の大きな変化の先にある“新たなステージ”（ネット上のサービスとサービス、ネットとリアルとのサービスが相互に融合し、利用環境もオープンかつシームレスなものとなる世界：“Inter-Service 時代”）の実現に向けた NTT グループの取組みについてご紹介いただきました。

講演のアンケートでは、「事故の事例や利用者視点で取り組んだ今後の政策の方向性について大変分かりやすかった」、「既存の基準、提供者の目線に縛られず、時代に即した基準、ユーザ目線でのサービスに努めるべきというメッセージを感じた」、「環境変化に伴って主任技術者制度が古くならないよう、今後の法制化等を期待したい」、また、「Inter-Service の構想が理解できた」、「モバイル通信技術の可能性は計り知れないと感じた」、「OTT が出現してくる中で、Wi-Fi のオープンアクセス性とダイレクトアクセス性と言う観点では、最下層のインフラでありながら、OTT のさらに上のレイヤでもあるという在り方でまさに目から鱗が落ちる思いであった」など多数のご感想、ご意見をいただきました。

当協会では、いただいたご感想、ご意見を参考にさせていただき、今後のセミナー開催に反映してまいりたいと考えています。



総務省 総合通信基盤局  
電気通信技術システム課長 杉野 勲 氏  
「多様化・複雑化する電気通信事故の防止に  
向けた総務省での取組み」



NTT 取締役 技術企画部門長  
新ビジネス推進室長兼務 小林 充佳 氏  
「Inter-Service 時代の取組み  
～新たなステージを目指して～」